

エレベーター3基 エスカレーター11基 整備

バリアフリーと利便性の向上

これまで、計画の見直しについてお知らせしてきた海老名駅自由通路(駅舎部)は、現在詳細の設計に取り組んでいます。今回は、中間報告として設計の概要をお知らせします。

人の流れを分離

動線は、乗り換え客と一般の利用者を分離することで、快適に利用できるような計画しています。基本的には、これまでお知らせしてきた形で設計を進めています(図1)。

緩やかに歩きやすい形

計画見直しの段階で、みなさんから「通路の形を曲

げて大丈夫なの?」との質問を受けました。

通路の形については、設計を進める中で、小田急線の改札位置を変更するよう協議し、なるべく緩やかに歩きやすい形となるように検討しています(図2)。

また、整備済みの駅前広場のデッキとの接続部分も歩きやすい形状となるよう関係者と協議を重ねています。

エレベーターを整備

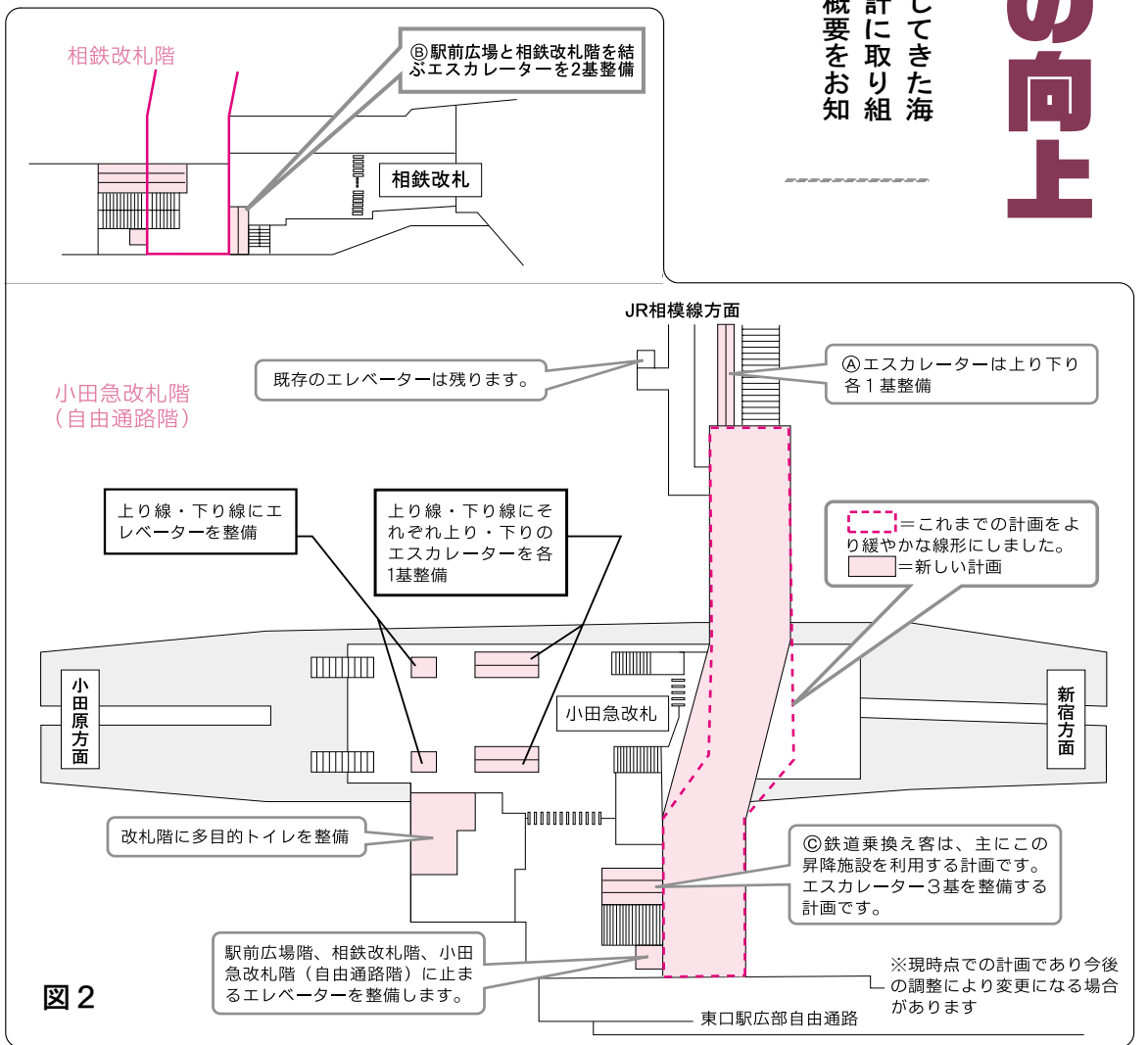
海老名駅東口の正面に新たにエレベーターを整備します。駅前広場の階、相鉄改札の階、小田急改札の階に止まるものです。

なお、小田急海老名駅西口にあるエレベーターは、そのまま利用し、新たにエスカレーター(上下各1基を整備する計画です(図2のA))。小田急線では、駅舎の大規模改修が行われるとともに、改札とホームを結ぶ部分にエレベーターとエスカレーターを設置し、改札の階に多目的トイレを整備します(これまでの下り線ホームのトイレは撤去)。

相鉄線では入口部分にエスカレーターを整備します(図2のB)。

また、乗り換えの主動線となる階段部分には、エス

8月末に設計完了(予定)
デザインの検討、歩行者通路の切り替え計画、工事のスケジュール、整備費用の積算などを行い、8月末日までに変更設計を完了させる予定です。
設計内容については、今後も引き続き、みなさんにお知らせしていきます。
また、市ホームページでも情報提供を行っています。
駅周辺対策課。



市民意識調査ください

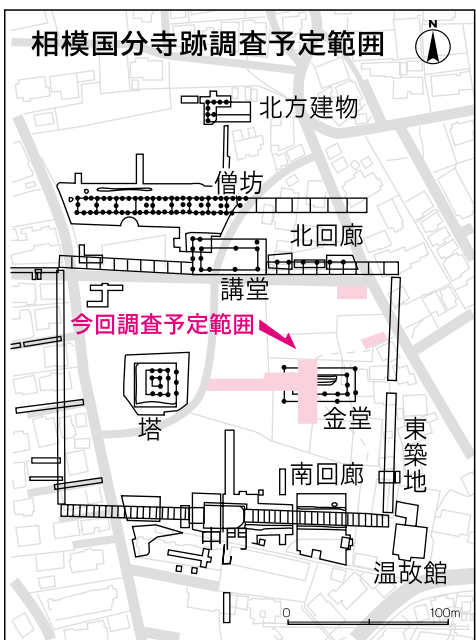
市では、2年に1度「市民意識調査」を実施しています。今年度は次のとおり実施しますので、ご協力をお願いします。
▽目的 多様化する市民要望などを調査・分析して、政策形成の基礎資料とする
とともに、市民の市政への直接的な参加を促します。
調査結果については、海老名市総合計画・実施計画、また各種施策の推進に役立ちます。
▽調査項目 定住性、市政への関心度、市の魅力と将来像、防災防犯、健康・スポーツ・文化、学校教育、市役所の利便性など。
▽方法 市内在住の20歳以上の個人2000人を無作為に選んで調査票を郵送します。回答は、無記名・アンケート方式で、同封の返信用封筒で返送してください。

史跡相模国分寺跡の発掘調査実施



▲去年の発掘調査説明会の様子

市教育委員会では、史跡相模国分寺跡金堂跡について、建立年代や範囲確認のための発掘調査を実施します。調査期間中、周囲の住民のみなさんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
なお、調査区は一部深いところなどあり、立ち入ると危険です。見学などを希望される方は、事前に文化財課に連絡するか、現場担当者にお声をお掛けください。
▽日時 7月25日(月)～9月16日(金) 午前9時～午後5時
▽場所 史跡相模国分寺跡金堂跡
※土日とも調査を行います。
同課文化財担当。



▽調査期間 調査票を7月29日(金)に発送します。回答は8月12日(金)まで 担当。